

セキュリティ対策

-19-

パスワードは
安易に設定しない

インターネットバン
キングやウェブメー
ル、オンラインストレ
ージ、SNS(ソシ

アル・ネットワークキ
ング・サービス)などの
各種ウェブサービスの
拡大に伴い、独立行政
法人情報処理推進機構

(IPA)の情報セキ
ュリティ安心相談窓口
には、それらサービス
への不正ログイン被害
に関する相談が継続し
て多く寄せられてい
る。

閲覧された後、サイバ
ー攻撃を受けて約2カ
月にわたりシステム停
止の被害に陥った組織
の報道もあった。

ウェブサービスへの
不正ログインの理由と
して、利用者の安易な
パスワード設定が挙げ
られる。例えば、ID
と同じIDとパスワード

誕生日などの情報を
パスワードにするのも
危険だ。「qwerty
y」といった一見ラン
ダムな文字に見えるが
実はキーボード上の隣
接している文字も推測
されやすい。また、複
数のウェブサービスで

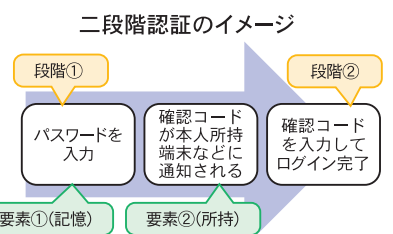
同一IDとパスワード
を使い回している場
合、一つのウェブサ
ービスのIDとパスワ
ードが漏えいしただけ
で、他のウェブサ
ービスにも被害が拡大
する。

方確保するためウェ
ブサービスを活用する
機会は増えていくと考
えられるが、利便性と
同時に安全性の確保も
考慮する必要がある。

二段階認証の
利用も有効

ウェブサービスの不
正ログインの被害に遭
わないためには、ウェ
ブサービスを利用する
ユーザーが自分自身で
対策を実施することが
必須となる。具体的
な不正ログイン対策と
して、まずはパスワード
を「長く」「複雑」に
設定し、また、厳
重に管理された紙のメ
ンなどの端末の所持
理推進機構(江島将和)

不正ログインに注意



や、指紋、顔、静脈、
虹彩といった生体情報
など複数の要素を用い
た認証方式である。
「二段階認証」と呼ば
れることもある。これ
を利用することで不正
ログイン防止に効果が
ある。また、仮にID
やパスワードが窃取さ
れても、金銭などの最
終的被害を回避するこ
ともできる。

IPAでは相談が多
い不正ログイン対策に
ついて特集ページを公
開している。詳しくは
ウェブサイト(https://
www.ipa.go.jp/security/a
nshin/account_security.h
tml)を確認してほし
い。

金により金銭被害が発
生する。SNSの場合
は、成り済ましによる
書き込みやスパムメッ
セージの送信により信
用低下を招く。先日は、
ウェブメールに不正ロ
グインされたことで、
メールでやり取りして
いるさまざまな情報が

とパスワードが同一、
パスワードに単純な単
語や、「123456」の
ような連続した英数字
を使用している場合、
攻撃者にパスワードを
推測される恐れがあ
る。

働き方改革を進めて
いく上で、リモートワ
ークによる柔軟な働き
方

正ログインの被害に遭
わないためには、ウェ
ブサービスを利用する
ユーザーが自分自身で
対策を実施することが
必須となる。具体的
な不正ログイン対策と
して、まずはパスワード
を「長く」「複雑」に
設定し、また、厳
重に管理された紙のメ
ンなどの端末の所持
理推進機構(江島将和)

いものにして、さらに
複数サービス間で「使
い回しをしない」こと
が重要である。

例えば、パスワード
管理ソフトを利用し、
ウェブサービスごとに
異なるパスワードを設
定する。また、パスワ
ードには推測されにく
い

さらに、ウェブサ
ービスが「多要素認証」
を提供している場合は
利用する。多要素認証
とは、パスワードの記
憶だけでなく、ワンタ
ームパスワード(一回
目)を確認してほし
い。

独立行政法人情報処
理推進機構(江島将和)